

■ こましんの地域活性化への取組みについて

当金庫は、東京都東地区(江戸川区、江東区、墨田区、葛飾区、足立区)、千葉県西部(市川市、浦安市、松戸市、船橋市)、埼玉県南部(八潮市、三郷市)を営業地区とし、都内信用金庫の中で最古の歴史を有する相互扶助型金融機関です。

「三者共栄」(お客様・職員家族・金庫)を経営理念として、地域のお客さまからお預かりした大切な預金を、地域で資金を必要とされている方々にご融資し、暮らしや事業のお手伝いを通して、地域になくてはならない「地域貢献バンク」をモットーに地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

■ 経営改善支援に対する実践力強化の取組み

当金庫では、企業先等の相談・支援による経営改善の支援、あるいはスキルアップを図るため、審査能力・相談支援能力向上を目的とした勉強会等を継続実施しております。また、経営改善支援に係る取組みを業績評価項目に加えるなど、企業支援体制の充実・強化を図っています。「事業性評価」を活用した積極的且つ迅速な資金供給や「創業支援」・「事業承継」にかかる各種支援策等を今後、注力すべき課題として認識し、外部専門機関との連携強化や活用を含め取組み強化を図ってまいります。

■ 経営改善支援の取組み

当金庫では、営業店と企業支援専担部署の連携による取引先に対する経営改善支援の取組みに加えて、外部の中小企業診断士等の活用を図るなど、取引先企業に対する経営相談・支援に取り組んでいます。

経営状態の厳しい先を中心に経営改善支援先を選定していることから、多数の取引先のランクアップは難しい状況下ではありますが、2019年度は、経営改善支援先から1先のランクアップ実績を上げています。

2019年度における経営改善支援等の取組み実績

【2019年4月～2020年3月】

(単位:先数)

(単位:%)

	期初債務者数 A	うち経営改善支援取組み先数 α	αのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 β	αのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 γ	αのうち再生計画を策定した先数 δ	経営改善支援取組み率 α/A	ランクアップ率 β/α	再生計画策定率 δ/α
正常先 ①	1,190	4	4	4	4	0.3%	100.0%	
うちその他要注意先 ②	821	51	1	46	50	6.2%	1.9%	98.0%
うち要管理先 ③	11	0	0	0	0	-	-	-
破綻懸念先 ④	30	6	0	5	6	20.0%	0.0%	100.0%
実質破綻先 ⑤	17	0	0	0	0	-	-	-
破綻先 ⑥	3	0	0	0	0	-	-	-
小計(②～⑥の計)	882	57	1	51	56	6.4%	1.7%	98.2%
合計	2,072	61	1	55	60	2.9%	1.6%	98.3%

(注)・期初債務者数及び債務者区分は2019年4月初時点です。  
 ・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含みません。  
 ・βには、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しております。  
 ・なお、経営改善支援取組み先で途中で完済した債務者はαに含めるもののβに含めておりません。  
 ・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はβに含めております。  
 ・期初に存在した債務者で途中で新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従っております。  
 ・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めておりません。  
 ・γには、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しております。  
 ・みなし正常先については正常先の債務者数に計上しております。  
 ・「再生計画を策定した先数δ」=「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」+「RCCの支援決定先」+「金融機関独自の再生計画策定先」

2019年度における創業・新事業支援融資実績

件数	10件	金額	56百万円
----	-----	----	-------

2019年度における個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資の取組み実績

件数	129件	金額	427百万円
----	------	----	--------

■ 課題解決型金融の取組み

取引企業間のビジネス機会創出・親睦を図る取組みや大多数の事業者が課題に掲げる販路拡大に資する「ビジネス交流会」、また様々な経営上の課題解決を図ることを目的とする「新現役交流会」を過年度から継続的に実施しています。

◆ ビジネス機会の創出や課題解決に向けて「ビジネス交流会」・「新現役交流会」を実施

シグマバンクグループ(足立成和信金・亀有信金・東栄信金・当金庫)の業務提携活動として2019年8月に第11回シグマバンクグループ「ビジネス交流会」を開催いたしました。当日は約350社の参加・来場者900人超と盛況となりました。当金庫の取引先については、商談成果として39件のマッチング実績を挙げております。

更に前回に引き続き交流会別会場に「課題解決相談エリア」を新設し、東京都よろず支援拠点、東京税理士会、東京弁護士会などの外部専門機関を招聘し、ビジネスマッチングに加え、取引先企業が抱える多種多様な課題解決の機会提供にも取り組みました。

また、シグマバンクグループの業務提携活動として、各金庫単位で「新現役交流会」を実施しました。これは、豊富な実務経験や専門性のある人材が不足しがちである取引先中小企業と新現役(企業を退職した人、退職予定者など)との「人材マッチング」を行う取組みであります。当金庫は2019年11月に実施し、5社が新現役とのマッチング(個別支援)に至るという成果を挙げています。



■ 地方公共団体や外部専門機関との連携強化(金融仲介機能向上の強化の取組み)

当金庫本店が所在する江戸川区をはじめ、商工会議所、法人会、中小企業再生支援協議会、中小企業振興公社、日本政策金融公庫等とも連携強化を推し進めるとともに、外部専門機関・諸団体とも幅広く連携しながら、地域金融機関として実効性のあるコンサルティング機能や金融仲介機能を発揮すべく取組み強化を図っています。

◆ 日本政策金融公庫との協調融資商品の推進

2017年10月から、日本政策金融公庫と創業企業向けの「こましん創業サポートローン」、地元中小企業向けの「こましん地域サポートローン」の2つの協調融資商品の取扱を開始し営業店の積極的な推進により、協調融資商品で多くの取扱実績を挙げました。また、2020年2月からは協調融資のラインアップを充実させ、「創業」、「成長」、「事業再生」、「事業承継」の企業のライフステージに合わせた円滑な資金提供と資金調達手段の多様化が当金庫と日本政策金融公庫との相互連携により可能となりました。



◆ 東京都よろず支援拠点や東都経営力向上センターなどの活用

東京都信用金庫協会が実施機関となっている「東京都よろず支援拠点」は、国が設置する中小企業・創業希望の方などのための経営相談所で「無料」で「何回でも」取引先企業が抱える“よろず”の課題などに対して相談出来る機能を有しています。2019年度には、取引先6企業が同拠点への相談を通じて課題解決に向け取り組みました。

当金庫では、職員のコンサルティング能力向上に努めていますが、特に専門性の高い課題に対しては、即効性や実効性を鑑み、業務連携している外部専門機関への仲介を適時実施しています。

同じく業務連携している「東都経営力向上センター」は中小企業診断士を中核とする他士業専門家を加えた“ワンストップ”の課題解決機能を有する機関です。

同センターは幅広い業務を行っていますが、特に強みとする設備投資などに対する各種補助金・助成金申請に対して、取引先企業の申請書作成に対する事務負担軽減や保有するノウハウを活かした高い採択率を挙げていることから、同センターとの個別相談会実施や取引先企業の依頼に基づき、同センターへの取次を適時実施しています。本取組みは過年度から実施しており、これまでに多くの採択実績を挙げています。

